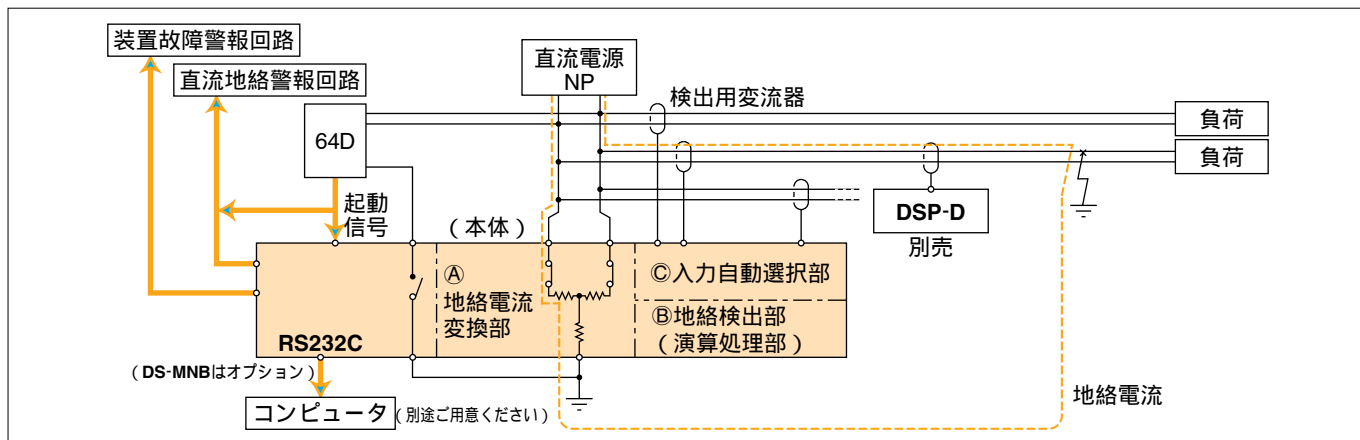


動作概要



- ① 直流地絡検出装置は、直流地絡継電器(64D)の地絡故障信号を受けて動作を開始します。
- ② 始動すると、同時に64Dの接地を切り離します。
- ③ 地絡電流変換部で、直流の地絡電流に5Hzの正弦波を含む直流電流に変換します。
- ④ 地絡が発生している極と回路全体の地絡抵抗値をディスプレイに表示します。DS-MNBはさらに、内蔵のプリンタで地絡発生年月日時分、地絡抵抗値などを印字します。
- ⑤ 入力自動選択部において、検出用変流器からの信号を1秒ごとに順次切り替えます。
- ⑥ 変流器からの信号を地絡検出部において、増幅・ろ波して、判定方程式により、地絡判定します。DS-MNBはさらに、内蔵のプリンタでその時の結果を順次プリントアウトします。
- ⑦ 地絡回路と判定したら、DS-MKAは、その回路番号が点灯します。DS-MNBは、地絡回路と判定したら、プリントアウトにその回路番号のらん右端に"F"を印字します。
- ⑧ 地絡が消滅すると、自動的に待機状態に戻ります。DS-MKAは、表示は保持します。
- ⑨ 64Dの設置を、元に戻します。

仕様

型式		DS-MNB		DS-MKA
ご注文品番		DSMNB48	DSMNB64	DSMKA
地絡検出回路数		48	64	20
A	地絡電流変換部	発振周波数		
		5Hz(正弦波)		
		適応直流電源(検出回路電圧)		
B	地絡検出部	DC110V(90~140V)		
		DC110V以外につきましては、別途お問合わせください。		
		地絡電流		
C	入力自動選択部	最大値4mA(DC110V)		
		10kΩ未満		
		電路全体の対地静電内容量600μF以下で、1回路 100μFまで		
電源部	地絡抵抗表示	10kΩ未満		
		電路全体の対地静電内容量600μF以下で、1回路 100μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		
消費電力	外形寸法(タテ×ヨコ×フカサ)	10kΩ未満		
		電路全体の対地静電内容量600μF以下で、1回路 100μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		
重量	消費電力	200μF以下で、1回路 50μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		
外形寸法(タテ×ヨコ×フカサ)	重量	200μF以下で、1回路 50μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		
重量	外形寸法(タテ×ヨコ×フカサ)	200μF以下で、1回路 50μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		
重量	外形寸法(タテ×ヨコ×フカサ)	200μF以下で、1回路 50μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		
		200μF以下で、1回路 50μFまで		

検出用変流器

S-15



N-18



貫通形	型式	S-15	S-30	S-40	S-55	S-68
	貫通穴径	15	30	40	55	68

分割形	型式	N-18	N-30	N-40	N-65
	貫通穴径	18	30	45	65